進路指導関係報告

進路指導係　石田　公里

新緑の季節となりました。日頃は陵友館の運営や奨学金による援助をはじめ、物心両面から同窓会並びに同窓生の皆様のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。新年度を迎え、1年生は新しい環境の中で、また2・3年生は自らの目標に向けて、気持ちも新たに学校生活を送っています。

さて、今春の進路状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

センター試験の状況と全国の様子

複数の大手予備校や大学入試センターによると、景気回復が唱えられるなか、求人倍率にも変化が現れ、その影響が受験生の動向にも表れました。全国的にはここ数年の傾向であった『理高文低』も昨年あたりから一息入り、『文高理低』にシフトしました。この流れは、センター試験の平均点が国語や日本史B、地学基礎が上がったのに対し化学、物理は下がったことにより、7科目文系型で昨年から6点アップして559点（900点満点）となった一方、7科目理系型で昨年から4点ダウンして574点（900点満点）となり一層拍車がかかりました。結果として系統別の志願者は文系が増加に転じたのに対し、理系では看護を除き減少が目立ちました。

本校ではその傾向は顕著には現れませんが、一頃の仕事に直結する資格系や実学系人気は収まってきたように感じます。

また、本年度のセンター試験は英語、国語、地歴・公民が新課程へ移行しましたが、このセンター試験も2020年度より記述式を含む新たなテストに変わり、思考力や判断力を重視した内容となる見通しですが、知識を活用し思考力を測ろうとする出題は、今年の試験で一部の教科・科目で出題されました。このような変化の兆候は見られましたが、昨年度のセンター試験のように旧課程と新課程が混在し得点調整をはじめ平均点の動向に影響を与えるようなこともなく、比較的落ち着いた試験となりました。それぞれが力を発揮する中で9割越えの高得点をマークした生徒も現れました。

国公立大学

本校生の難関国公立大学や医学・薬学等の難関学部への挑戦者が減ったことは昨年と同様な傾向です。全国的な傾向も同様でありながら、難易度に変化がないことを見ると、本校生もまた全国傾向と同様にチャレンジよりは確実な結果を求める気持ちが今年も強くあらわれたのかもしれません。国公立の合格者は国立の大学校を含め106名となりました。

私立大学

今年も関東や関西の都市部の有名私大へ多くの志願が集まりました。首都圏では郊外に移転した一部の大学が再び都心回帰を果たし、それが志願者の増加につながったところがありました。本校でも慶應や早稲田をはじめ人気の明治、青山、立教、中央、法政、同志社、立命館等で合格者を出しました。

卒業後の就職にも余裕が出てきたためか、全国的にも一人当たりの大学受験校が増加しました。本校でも昨年より40名ほど多い延344人の合格を出しました。とは言え、全国的には学生への仕送りは昨年よりもまた減少し、経済面からみると学費の高い私立大学へ進学する生徒をとりまく環境はより一層厳しくなっているようです。

短期大学・専門学校

短大の主な合格校は県短期大学です。この短大も平成30年からは四年制大学になるため、他県も含め大学を目指す受験生から注目されるでしょう。このため新大学の入試では難化が予想されます。事前の情報収集が今後欠かせません。

専門学校は実学系を中心に一部学費減免も狙った進路選択となりました。

浪人

昨年よりは20名ほど減少し85名が地元の予備校を中心に来季を目指します。

以上概略を報告させていただきました。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成28年3月卒業生（浪人）の進路状況
及び
過去7年間の国公立・私立・短期大学の合格者の推移

表Ⅰ　平成28年卒業生の進路〔進路先〕

	大学〔短大〕進学				専門学校	外国大学	就職	浪人	その他	合計
	国公立	私立	国公短	私立短						
男子	38	59	0	0	2	1	0	28	0	128
女子	55	63	5	2	9	0	0	57	0	191
合計	93	122	5	2	11	1	0	85	0	319
	215		7							

表Ⅱ　国公立大学合格者数の推移〔延数〕

卒　年	22	23	24	25	26	27	28
現　役	113	122	116	112	99	98	106
浪　人	25	43	39	49	45	46	50
合　計	138	165	155	161	144	144	156

表Ⅲ　私立大学合格者数の推移（延数）

卒　年	22	23	24	25	26	27	28
現　役	272	312	339	324	348	292	342
浪　人	183	188	187	229	275	197	180
合　計	455	500	526	553	623	489	522

表Ⅳ　短期大学現役合格者数の推移（延数）

卒　年	22	23	24	25	26	27	28
国公立	13	8	2	5	4	5	5
私　立	4	9	4	2	1	9	2
合　計	17	17	6	7	5	14	7